

新型コロナウイルス感染症の対応について

新型コロナウイルス感染症のオミクロン株の市中感染が、県内で令和3年12月末に初めて確認されて以降、感染が急拡大し第6波に突入しました。

オミクロン株は非常に感染力が強いため、本市におきましても、2月10日に1日に400人を超える陽性者が確認されるとともに、保育園、学校、医療機関、福祉施設等においてもクラスターが多数発生しました。

また、国はオミクロン株の特性を踏まえ、濃厚接触者の待機期間や、陽性者の退院基準・療養解除基準等について度々変更したこともあり、その度に保健所は対応を迫られ、現場が混乱した時期もありました。

第6波の感染状況及びあかし保健所の対応について報告いたします。

1 明石市の新型コロナウイルス感染症発生状況 資料1

2 医療提供体制等

市内のコロナ入院病床としまして、5医療機関51床を確保しました。また後方支援病院として、13の医療機関において、コロナ病床入院中の患者で、国の退院基準を満たしているものの、継続して治療が必要となった方の転院を受けていただいています。転院の調整は、入院病院、後方支援病院、明石市医師会及びあかし保健所間のメーリングリストにて、速やかに実施できる体制をとっています。

しかしながら、1月末から2月中旬の感染ピーク時には、高齢者施設でクラスターが相次いで発生した影響で、入院が必要な高齢者が増加し、病床がひっ迫しました。一旦、状態悪化時に入院加療後、医師の判断により施設に戻って療養いただくなどして、病床を確保するよう努めました。

3 自宅療養者への対応

患者急増に伴い、県の方針（※）で、軽症・無症状の方は、自宅療養をお願いしましたが、多い日で、2,000人を超える方が自宅療養された時期もありました。

高齢の方、基礎疾患がある方、呼吸器症状や発熱などの症状が継続する方には、国の健康管理システムを用いて、スマートフォンや自動で架かる電話にて体調を確認したり、保健所が必要時パルスオキシメーターを貸し出し、看護師または保健師が電話や訪問にて健康観察を行なっています。

また、状態悪化時に入院先がすぐに確保できない場合もあり、その間、往診可能な医療機関にご協力いただき、自宅や施設にて、解熱剤等の投与、点滴による補液、酸素濃縮器の設置等の処置をしていただきました。肺炎等の精密検査が必要な方の診察

や検査ができる医療機関も確保してきました。

※症状に応じた適切な療養の実施に向けての県の方針

- ① 中等症（概ねⅡ程度）以上の者は入院
- ② 中等症（概ねⅠ程度）患者は宿泊療養施設での療養
- ③ 軽症・無症状者は自宅での療養

4 あかし保健所の対応について

(1) 職員体制の強化

保健所内での職員の応援はもとより、緊急の人事異動をはじめ、本庁から保健師、事務職員の応援、消防局からの職員派遣、民間派遣人材の活用、県立大学からの看護教員の応援を受けるなど、最大で100人を超える体制で対応してきました。

(2) 業務の重点化・効率化

患者急増で、保健所業務がひっ迫したため、入院等の治療が必要な方に速やかに対応するため、1月中旬から県の通知に基づき、高齢の方、基礎疾患のある方や、診断した医療機関よりハイリスクであると連絡を受けた方の疫学調査を優先的に実施しました。具体的には、医療機関からの情報を踏まえ、若年層を中心に、基礎疾患、重症化リスクのない方については、ショートメールを活用し、明石市ホームページで療養中の注意点や療養解除について案内するとともに、患者自らWEB上で疫学調査の間診票を入力できるようにすることで、対応の迅速化、業務の効率化に努めてきました。

その結果、陽性者へのファーストタッチについて、概ね、発生届受理日もしくはその翌日に行ない、早期の健康観察や早期治療の介入が必要な方に、医療機関と連絡を密にしながら迅速に対応しているところです。

(3) 相談体制の充実

感染拡大に伴いコロナ相談ダイヤルへの相談件数も急増してきたため、職員を増員し、電話回線を4から6回線に増設し、携帯電話も使用するなど、1件でも多く相談がとれるよう努めています。

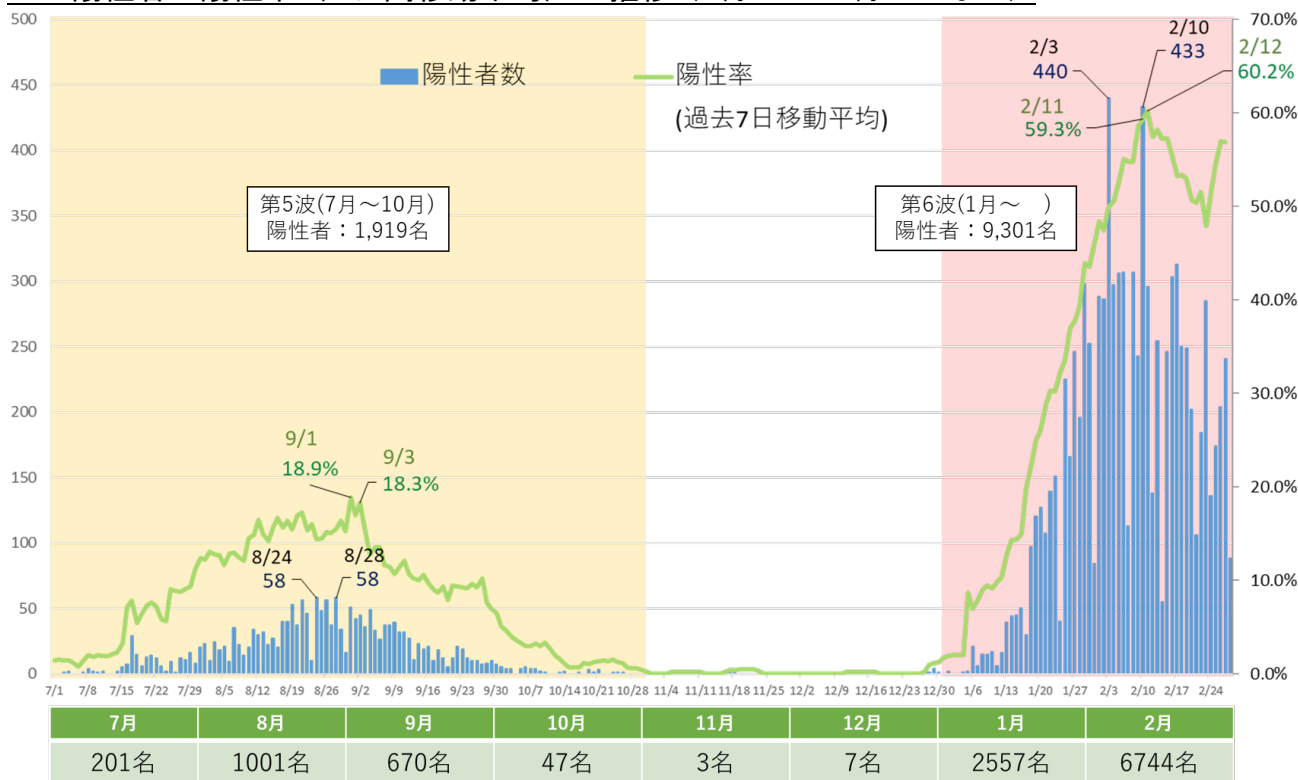
明石市の新型コロナウイルス感染症発生状況

1 検査数・陽性者の状況 (2月28日発表時点) ※以降公表日ベース

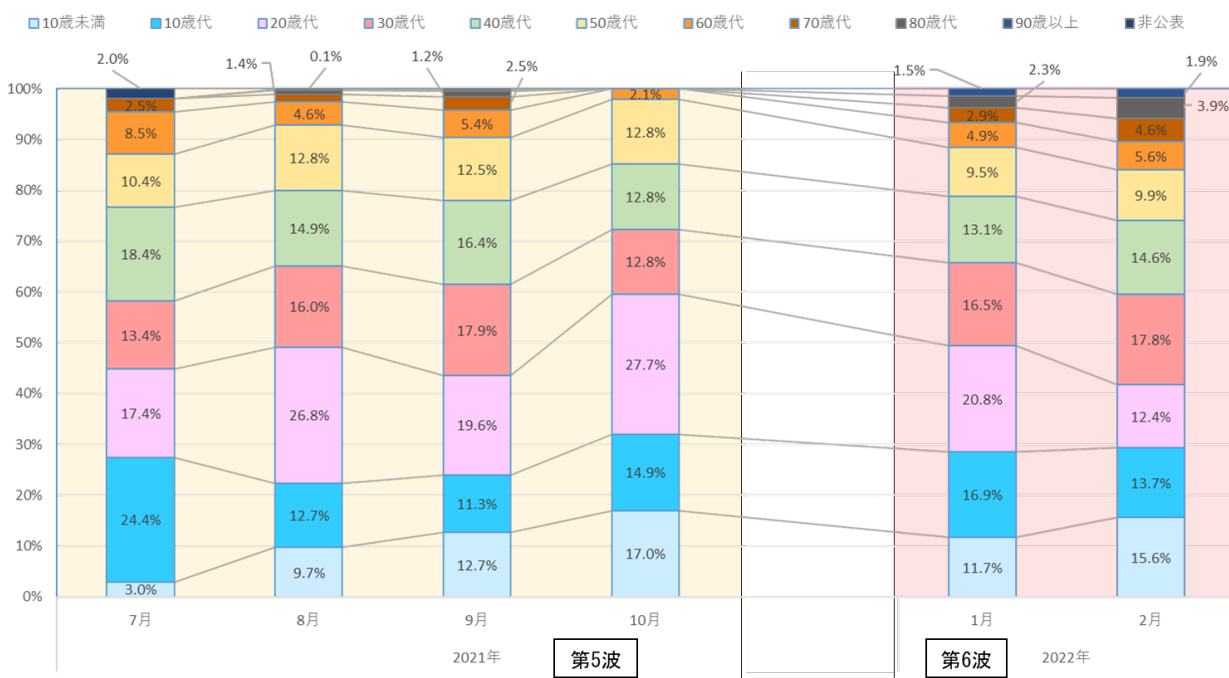
検査数 (累計)	陽性者 (累計)	入院中	入院調整中	宿泊療養中	宿泊療養調整中	自宅療養中	退院・退所 (累計)	死亡 (累計)
74,858	13,226	98	0	21	0	1,307	11,718	87

※退院・退所人数には、療養期間経過者及び他市対応依頼済みの患者を含む。

2 陽性者・陽性率 (7日間移動平均) の推移 (7月1日~2月28日まで)



3 陽性者の年代別構成の推移 (7月1日~2月28日まで)



4 小児（15歳以下）感染の状況（7月1日～2月28日）

第5波						第6波	
7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
32	149	118	9	0	0	492	1,651
308				0		2,143	

5 死亡者数の推移（7月1日～2月28日）

月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
死亡者	0	2	4	0	0	0	1	23
	6 (致死率 0.31%)				0		24 (同 0.26%)	
うち 65歳以上	0	0	3	0	0	0	1	22
	4 (致死率 4.82%)				0		23 (同 2.10%)	

6 クラスターの発生状況（7月1日～2月28日）

■ 第5波（種別）

No	種別	件数
1	学校・園	5件
2	福祉（高齢者・障害）関連施設	1件
3	行政施設	1件
4	スクール・ジム	1件
5	医療機関	1件
合計		9件

■ 第6波：1月以降（種別）

No	種別	件数
1	学校・園	40件
2	福祉（高齢者・障害）関連施設	14件
3	児童福祉施設	1件
4	医療機関	4件
5	行政施設	1件
合計		60件

7 その他（兵庫県の入院病床数・宿泊療養室数） ※2月28日時点／県 HP 参照

区分	確保病床等	患者数	使用率
入院	1,499	1,014	67.6%
（うち重症対応）	142	43	30.2%
宿泊	2,411	355	14.7%